

第41回 上海博楚簡研究会のご案内

※ 本研究会は、「出土資料と漢字文化研究会」(平成21年度科学研究費補助金(基盤研究(B)))
定例研究会との共催です。

『天子建州』を読む(下)

発表者: 清水浩子氏
(大正大学非常勤講師)

馬承源主編『上海博物館蔵戦国楚竹書』(上海古籍出版社、定価600元)の第6冊が2007年7月に出版されました。以来同書に収録された竹簡の内容は、古代中国の哲学・歴史・語学文学など、関係する分野を問わず、多くの研究者から注目を集めています。今回は同書所収の『天子建州』を取り上げ、研究会を行うこととなりました。

さて、その『天子建州』は甲本と乙本の2種類があり、甲本は13枚、乙本は11枚の竹簡から成っています。両本は別筆ですが内容は同じで、整理者によれば、主に「礼」制について記した儒家の文献であり、今本『大戴礼記』・『礼記』と類似する記載が含まれているとのことです。その中でも特に『大戴礼記』礼三本篇と密接な関係にある内容が見られるといい、その礼三本篇の来源と言われている『荀子』礼論篇との関連も含めて、本篇は先秦時代の礼学について研究する上での貴重な資料と申せましょう。

第41回目を迎えた今回の研究会は、前回に引き続き清水浩子氏(大正大学非常勤講師)が担当し、最新の情報を盛り込んだ『天子建州』の訳注を発表いたします。つきましてはご多忙中恐れ入りますが、下記のとおり開催いたしますので、ご関心をお持ちの方々多数お問い合わせの上、是非ご参加下さい。

日時：2009年5月30日(土) 午後2時～午後5時

場所：日本女子大学百年館高層棟302会議室

- 使用言語 日本語
- 参加費 無料
- 『上海博物館蔵戦国楚竹書』(六)の写真図版や釈文のコピーなどは、各自ご用意下さい。

連絡先：

東京都板橋区高島平1-9-1 大東文化大学文学部中国学科
電話：03-3935-1113(内線3215) 池田知久